

渡米してからはやくも 4 ヶ月が経ちました。夏が過ぎ、気温もだんだん下がってきました。さて、今回の報告書では、夏学期に通った英語学校、IEI (Intensive English Institute) と、今学期に履修している授業について報告します。

### IEI (Intensive English Institute)

IEI とは Intensive English Institute の略で、英語を徹底的に勉強する学校です。この学校はイリノイ大学のアーバナ・シャンペーンキャンパス内にあります。対象者は、アメリカの大学の学部もしくは大学院の入学条件で来られている方や、単に英語のスキルアップを図るために来られている方などさまざまです。人種、年齢も同様です。クラス分けはテストにより決定され、1 クラスは平均して 10 人程度で構成されています。生徒間や先生との距離はとても近く、英語を勉強するのにいい環境だと思いました。世界各国の方とコミュニケーションをとりながら授業を受けるという経験ができてとてもよかったと思います。IEI にはいろいろなアクティビティが用意されており、異国の方とゲームをしたり、ご飯を一緒に食べたりショッピングをしたりと、いろいろな経験をすることができました。夏学期は Daniels Hall に住みながら、毎日英語の勉強をしていました。以下に少しではありますが、IEI での思い出の写真を貼ります。



今学期に履修している科目一覧

- ・ ME340
- ・ EALC250
- ・ PHYS140
- ・ ESL114

以下にそれぞれの詳細について書きます。

### Mechanical Engineering 340: Dynamics of Mechanical Systems

この授業は 1 週間に Lecture 3 時間と 2 時間の Lab から構成されています。Lecture は日本の授業とさほど大きな違いはありません。授業内容は、MATHEMATICAL BACKGROUND, SYSTEM MODEL REPRESENTATION, MODELING, INPUT/OUTPUT RESPONSE, MULTI-DEGREE-OF-FREEDOM SYSTEM で構成されています。先生は黒板に直接板書するのではなく、タッチパネル機能があるパソコンを使って板書をします。そのデータは Web 上で公開されているので、後から再確認することができます。ちなみに学生数はだいたい 50 人くらいでしょうか。毎週金曜日に Quiz, 毎週水曜日に宿題を提出しなければなりません。Lab は 2 週間に 1 回のペースで行われます。先生は Lecture の先生と一緒にではありません。大学院生に変わります。私の TA はたぶんインド人の方だと思います。学生数は 9 人、授業内容は、Lecture で学んだことを MATLAB と手で計算し、授業内容の理解を図るとともに、MATLAB のコマンドの使い方について理解を深めます。毎時間 Prelab というレポート形式のプリントをやっつけていかなければいけません。それと合わせて、Lab の時間内に使用する Lab Report を用意していく必要があります。Lab がある週は、この教科の予習と宿題に大きく時間を割かなければなりません。Grading は以下の通りです。Midterm1:

15% Midterm2: 15% Quiz: 5% Final Exam: 35% Homework: 20% Labs: 10%

### **EALC 250: Introduction to Japanese Culture**

この授業は1週間に3時間のLectureで構成されています。この授業は日本の文化についての勉強です。日本の文化がアメリカではどのように教えられているのかという興味と、それなりにわかっているだろう日本の文化を英語で勉強してみたかったというのが、履修した理由です。Lectureはだいたい300人程度が座ることができる大講堂で行われます。授業内容は、仏教とは、侍とは、文学上における中国との関係とは、など、幅広い範囲を学びます。各講義に合わせて、テキストを読んで予習します。講義中にはビデオ、YOUTUBE上の動画を頻繁に使用し、その動画中での先生の解説がテストに出ると聞いています。先生の日本での体験などは、とても親近感が湧いて楽しいです。

Gradingは以下の通りです Essay: 30% Midterm : 35% Final Exam: 35%

### **PHYS 140: How Things Work**

この授業は1週間に2時間のLecture, 1時間(不定期)のDiscover Classで構成されています。これは物理の授業です。授業開始当初は、完璧に履修し間違えたと思い込んでいました。というのも、このクラスは文系の方専用のコースだったからです。LectureはEALCの授業と同様、だいたい300人程度が座ることができる大講堂で行われます。この授業では定義や理論に重点が置かれているため、数式をあまり使いません。したがって英語の勉強になっています。理系専用の基本的な物理の授業よりも効果的な授業をとれたのではないかと考えています。この授業の特徴的な点は、生徒参加型の授業の進行形態です。一回の講義で3~4個の実験が行われ、生徒が参加する時もあるれば、先生が一人で解説しながら進められる場合もあります。また、聴講生は"i-clicker"というリモコンを使用し、講義中に出題される簡単な問題に回答します。これは出席確認を兼ねたもので、同時に生徒の理解度を先生が把握できるようになっています。Discovery Roomsでは、簡単な実験を2~3人のペアーを組んで行い、講義内容の理解を深めます。ディスカッションをしなければならないので、これも英語の勉強になっています。また、講義中ではあまり友達を作ることにはできませんが、このクラスでは友達を作ることができました。Gradingは以下の通りです。Homework: 14% Discovery Rooms: 14% i-clicker: 6% Midterm Exam: 42% Final Exam: 24%

### **ESL 114: Academic Writing**

この授業は1週間に2時間のLectureで構成されています。授業内容は、英語のアカデミックライティングについてです。この授業はIEIからUIUCに移動して、新しい学期に入ってから受けたEPT(English Placement Test)の結果から、必須科目として受けている授業です。週に一回のJournal, Essayが不定期に宿題として課され、2週間に一度先生と個人的なミーティングを行い、ライティング能力の強化を図ります。授業中には、ディスカッションをよく行い、一方的な講義とは違い、生徒と先生の距離はとて近いように感じました。生徒数はだいたい15人程度だと思います。中国人、韓国人、タイ人と一緒に授業を受けています。Gradingは以下の通りです。Major Papers(essay): 30%Final research paper: 20%Oral presentation of research paper: 10%Participation(homework, discussion etc): 15% Journal: 10% Attendance: 15%

以上で9月分の報告を終わります。